

これからのM

藤江 昭

住友電工システムズ株式会社 開発統括部

大阪市中央区南船場 4-11-28 サン船場ビル

Phone 06-6258-5518 Fax 06-6258-5520

E-mail fujie@sesys.co.jp

1. 現在弊社が提供中のMプロダクトとMアプリケーション

Mプロダクト

- ・ U-MUMPS:当社MアプリケーションのDBエンジンとしての利用のみに限定しており、単独販売はしていません。
- ・ SP-MUMPS:販売を中止しております。

Mアプリケーション

- ・ ACCEL/Win-ER (電子カルテシステム・医科版)
- ・ ACCEL/Win-ERD (電子カルテシステム・歯科版)
- ・ G-MACS (医事会計システム)
- ・ G-CLAS (臨床検査システム)

2. 最も力を入れているMテクノロジー

- ・ 「Mテクノロジー」にはどこまでの技術が含まれるのか?
- ・ 伝統的なM言語の範囲であれば、特になし。
- ・ しかし、アプリケーションのDBエンジンとして使い続ける理由は、「速さ」。
- ・ Cacheの提供できる機能と解釈すると、「Cacheオブジェクトアクセス」。
- ・ ThickクライアントからThinクライアントへ。PHP、Cache Server Page。

3. 今後開発すべきMテクノロジー

- ・ 廉価なハイ・アベイラビリティシステム
例えば、標準のUnix構成で、データベースサーバのノードダウン化をMの標準DB機能として達成する。
- ・ .net framework 下でのパフォーマンスアップ
超 SOAP、ガーベージコレクション
- ・ IPV6 完全対応
- ・ セキュリティ対策機能強化

以上